

令和6年度 学校法人駒場けやき学園 駒場幼稚園
自己評価 報告書

令和6年度の駒場幼稚園の教育活動及び園としての全体の活動を振り返り、☆1～☆4で自己評価をしてください。
また、自由記述欄にも積極的にご回答ください。

駒場幼稚園の教育目標

- ・自ら感じ、考え、表現することができる子ども
- ・心も身体もたくましい子ども
- ・友だちとかかわる中で、喜びを感じ、互いを生かしあうことができる子ども

☆4 十分達成されている

☆3 達成されている

☆2 取り組まれているが、成果が十分でない

☆1 取組が不十分である

駒場幼稚園で大切にしていること

- ・遊びを中心とした園生活の中で、よく感じ、考え、表現し、生きる喜びを味わうこと
- ・心と体を動かし、物事を創り出す過程を十分に体験すること
- ・自然が持つ教育力を重んじ、園内外の環境を有効に生かして豊かな経験を積み重ねること
- ・仲間と十分に触れ合うことを通して、楽しさや葛藤を体験し、人とかかわる力を身につけること
- ・教師が連携をとり合い、一人一人の幼児の育ちを見つめ、教育すること
- ・幼稚園と家庭とが協力し合い、幼児の安定した育ちと充実した環境の実現を目指すこと

〈 数字は回答(4.0満点 12名中8名)の平均値 〉

1) 駒場幼稚園の教育目標と「大切にしていること」に基づいた教育活動を行う。 3.75/4.0

・一人ひとりを大切に、またそれぞれが、園を安心できる場として、自己を表現し、楽しい事好きな事を見つけ自主的に取り組んでいけるよう心掛けてきました。

・教職員一人一人が教育目標を意識しながら、日々の保育行うことができていたと思う。

・保護者の方から「先生方の話を聞いていて、どうして大切にしていたのか分かりました！」などの話を聞きました。後からも駒場幼稚園の大切にしていることを理解して、それが子どもの育ちに繋がっていることが保護者の方に伝わっているのを聞くと、目標に基づいた教育活動を行っていると思いました。

・足りないこと、至らないことは多々あると思うが、今できる精一杯を考え実践している。

・本当はいけないことだと思いますが、教育目標や大切にしていることを普段あまり意識をして保育はしていません。でも、どれも私の保育の中で大事にしていることでした。子どもたちと一緒に生活していると、これらのことを考えながら保育することが普通です。特に今年度は、年長組だったので、「仲間と十分に触れ合うことを通して、楽しさや葛藤を体験し、人と関わる力を身につけること」を主に重点的にしてきました。自分の好きな遊びをとことん楽しんでいく先に、この「人と関わる力を身に付けることができる」と思っています。その成長が見えたときに、とてもうれしくなることができました。その姿をみると、焦らずじっくり大事にできてよかった、と思います。

2) 教職員としての成長を常に志し、積極的に様々な学びや体験を積んでいく。 2.25/4.0

・私は、ここがなかなか難しかったように思います。今年は研修に参加して自らも成長していきたいです。

・保育者としての成長は常に目指したいとは願いつつも、研修などの参加がなかなか出来ずでした。

- ・個々での学びを深めていくことはできていても、園として学びや体験を積む機会は少なかったように感じる。
- ・幼稚園としては、積極的に研修を行ったり、保育について職員で話し合ったりと成長する機会が多いと思います。が、個人的にあまり研修など行けなかったため3にさせていただきました。
- ・若い頃は研修会などに参加する時間があったが、現在は自身の家庭、子育てを通して学ぶ姿勢を大切にしている。学校 PTA や役員などできる範囲で積極的に参加し、「親の立場」からの視点や捉え方、また多角的な捉え、客観視ができるよう意識している。
- ・常にと聞かれると、常にではなかったと思っています。日々の生活に追われてしまったり、家族の体調を第一に考えて、出かけることをやめてしまうことも多いです。でも、この春休みに我が子で映画やミュージカルを観に行く機会があり、日頃の生活の中で、私自身がわくわくする体験も大事だな、と心から思いました。生活にゆとりがもてるように、過ごしていいきたいです。そのためには、なるべく早く退勤することも大事だな、疲れをためないようにする、など、検討することは多々ありますが…。みんなで健康を大事に仕事をしていきたいです。

3) 保護者に向けて、園における子どもたちの様子を伝えたり、実際に見てもらう機会を増やすなど、子どもたちの生活と育つ姿を保護者と共有し、共通理解を深めていく。 **3.25/4.0**

- ・保育参観や保護者会、クラスだよりなどで情報発信をして、共有に努めていたと思います。今年はInstagramでも遊びの発信をたくさんして、保育の発信を頑張りたいです。
- ・クラスだより、日々の会話、面談、懇談会と伝えるよう心掛けてきましたが、その伝え方はまだまだ至らないところがあり、工夫が必要だと感じています。
- ・Instagram の開設をしたり、保護者会を行う回数を増やしたり、保護者との共通理解を深める場を積極的に作っていたと感じる。
- ・見てもらふこと、知ってもらふことが大事だと思ったので、今後も工夫していけたら...と思う。
- ・クラスだよりでお伝えすることを意識して、なるべく出すように心がけました。学期に1回の保護者会で子どもたちの様子をお伝えすること、登園や降園時に様子をお伝えする、時には、電話をするなど工夫しながら共通理解を深められるようにしてきた。
- ・クラスだより、連絡帳や保護者会などを通して定期的に子ども達の様子を伝えていること。また、それだけでなく、参観する機会を作り、実際の子どもの様子を見て頂き、その後保護者と、担任と一緒に振り返ることで子どもの姿、これからどのように見守っていくかを共有することができていると思いました。
- ・コロナ禍明け、保護者が園の中に入る、保育を実際に見る機会を少しずつ取り戻してきている。まだ十分とは言えないかもしれないが、保護者によってそれが負担になる人もいることを考えるとちょうどよい程度なのかもしれない。実際に園に足を運ぶことが難しい保護者に対しての発信も試行錯誤しているが、まだできることや工夫すべきことがあるかもしれない。

4) 園の教育活動や業務の全般において、教職員各自が積極的に発言・参与し、協力して取り組む

2.88/4.0

- ・若手も積極的に発言して、ベテランもそれを受け入れ、みんなで協力したり、考えたりしながら取り組める機会が多かったように思います。今年も話しやすい雰囲気意識して大事にしていきたいです。
- ・なるべく自分の考え、感じた事はシェアしていこうと心掛けました。ただもっと職員同士話しが出来れば...その機会をもっていきたいと思っています。

- ・全員で話し合う機会が多く、それぞれ担当している業務についても全員で共有することが出来るため協力し合える環境だと思います。自己評価としてあまり出来ず 3 にさせて頂きました。
- ・若手が中堅となり、かなり各自が自覚を持って取り組めるようになってきた。
- ・主任の声ばかりにならないように気を付けたい。それぞれ意見を持っていて、意見を言える環境にはなってきたとは思うのだが、いざ「どう？」と聞くと、シーンとなることも割と多い。その沈黙に耐えられずに主任が声を出してしまう...という場面が多いのは、今後改善できたらいいな、と思う。
- ・準備は割とみんなで協力して行えていると思う。フリーの先生が中心となって、進めてくれているのでとても助かっている。ただ、行事の後の片付けなどは、気づいた人がやっていることが多く、もう少し準備みたいにみんなで片づけられるといいな、と思うところもある。私も含めて、意識していきたいと思う。私たちは、思ったことは発言しているが、若い先生たちが言いやすい雰囲気になるようにできたらと心掛けてはいる。こちらから「どう？」と聞くこともあるが、若い先生たちからも会議の場だけでなく、発言が出てくるようになったのではないかと感じている。

5) 教職員のそれぞれが、ワークライフバランスを保持したうえで職務に取り組めるよう、園は職員各人の働き方に配慮する。 **3.00/4.0**

- ・とても理解がある職場でありがたいです。
- ・私自身、考慮していただき感謝しています。ただその際の負担がきつと偏って誰かに掛かってしまっている事が不安です。
- ・業務内容の簡素化など、ワークライフバランスを保つことができるように努めてきたが、退勤時間が遅くなってしまうことが多く、勤務状況を改善していこうとする気持ちを再度高めていく必要があると感じる。
- ・主任会では言いましたが、LINEの使い方は工夫改善すべきだと思う。何でもLINEになってしまうのは恐ろしい。知らなくてもいいこと、来週でいいことが絶対にあるはずなので、できるだけ線引きをしていくべきだと思う。
- ・もり組が 18 時までになったこと等もあり、先生たちの出退勤時間の多様化が必要になってきている。子育て中の人も、時短の人も色々いていいと思うが、一部の人だけに負担が偏らないように配慮してほしい。
- ・私は、子持ちなので、朝早く来られない、遅刻や欠勤など、迷惑をかけてしまうことが多い。どうしてもそうではない先生方の負担になってしまっていることが気になっている。でも、どうすることもできないので、今は、甘えさせていただきつつ、子育てが落ち着いたときに、若い先生たちにも子育てしながら働ける環境を作っていけたらいいと思っている。
- ・年齢にともない、みんなの健康が心配になってきたので、毎日、定時に退勤することは難しいのかもしれないけれど、次の日に回せる仕事は次の日にする、など、なるべく早く帰れるように過ごしていきたい。
- ・育児や、介護、または自身の体調など、それぞれの生活、環境を園と共有することで、職務にも取り組めるよう配慮してくださっていると思います。
- ・女性ばかりの職場で、それぞれ家庭、子育て、介護など家族のこと、そして自身の体調不良など、いろいろ抱えながら働いている。一人一人の家庭の状況も様々ではあるが、私は仕事と家庭のバランスの取り方が難しく、自身への負担が大きくなりがちである。そんな中で、一律に働き方を決めるのではなく、長く勤められるようそれぞれに合った働き方を提案してくれて柔軟に対応してくれるのはとてもありがたく、感謝している。

6) 今後の園の教育活動や業務の全般に関し、改善や取り組んでいきたいこと等があれば記入してください。

- ・保育活動のアピールがよい形で出来れば...と。また年齢関係なく、よい人間関係の維持、また向上に努めていきたいと思っています。

- ・園の教育活動について、外部への発信力を高め、園児募集に繋げていく。
- ・一人ひとりの業務の偏りが無い、その人の気持ちを聞いたり調整したりしていきたい。
- ・みんなが早く帰れるように、先取りして仕事を進められるようにしたい
- ・自分が何ができるのか考えたい
- ・仕事を前もって進めていくようにして、なるべく遅くならないように仕事をしていく。定時退勤、目指せ18時退勤(もり組が18時までである場合は無理だが)
- ・勤務時間がどうしてもオーバーしてしまう。仕事量が多いが、どれも今は減らせないという葛藤。いくらでも増やせるし、まだやりたいこともたくさんある。持ち帰る仕事もある。企画から実施まで全てを担う教員という職種の問題なのか...どうしたものか...
- ・朝の出勤が早いので、子育て世代は肩身が狭くとても辛い。一方で、朝の掃除など早く出勤できる人への負担がとても大きく辛いと思う。掃除に関して、用務員の配置が叶うなら検討してもいいのでは？と毎年思うが、用務員の方が時給が高くなるなどの理由で叶わず...
- ・若い先生たちが学べる機会を増やしたい。研修会への参加を促すなど。

7) 今年度「すくわくプログラム」として取り組んだ探究活動(テーマ1～4)について回答してください。

なお、本年度の「すくわくプログラム」取り組みの報告は下記に詳しく掲載しています。

駒場幼稚園ホームページ(<https://www.komaba.ed.jp/> ⇒トップページ お知らせ⇒《報告》)

[《報告》令和6年度すくわくプログラムの取り組みについて - 学校法人駒場けやき学園 駒場幼稚園](#)



【テーマ1:身近な生き物との暮らし】 3.50/4.0

【テーマ2:米作りと暮らしの文化の探求】 3.38/4.0

【テーマ3:絵本と音楽を楽しみ、友だちと一緒に演じることを楽しむ】 3.63/4.0

【テーマ4:文字や数の世界を探求しよう、色々な感覚を研ぎ澄ませてみよう】 3.13/4.0

◎来年度以降、子どもたちの探究活動として取り組んでいきたいこと等があれば記入してください。

- ・テーマとしては難しいかな？と思うのですが、楽しそう！と思ったのは「色」
- ・絵の具、色水、スライム等の混ざる楽しさを堪能している人が多かった。3学期の年長だったが、少しずつ色水を足して混ぜて、グラデーションになるような色水を作って並べて見ている人がいた。
 - ・またペットボトルにブロックで色を塗り、水を入れて日にかざすととてもキレイにその色が映ったり、水が入っていないと映らなかったり...を楽しそうに不思議そうに何度もくり返しやっている人がいた。
- ・野菜スープ後、炭が落ちていて、書けることに気づいたことから、他にも書ける物があるかも！と園庭中を探し回り、書ける石、書ける葉っぱ、書ける木の皮をみつけて楽しんでいた人もいた。
- ・絵の具の固まった物(乾いた物を粉末状にしたもの)と砂を混ぜて、色の付いた砂を作り出している人もいました。
- ・これまで通りで十分だと思っています。